

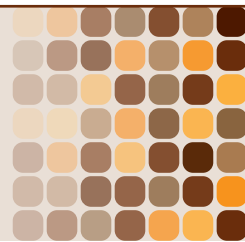




ポート・ヒロックで暮らす

LIFE IN PORT-HILLOCK

ご入居の方のインタビューや生活の様子をご紹介します



フラワーショップで、毎週お花を見るのがとても楽しみです。

<今回の入居者インタビューは介護棟にご入居の方の話をお伺いしました>

入居されたきっかけを教えてください

自宅での転倒、骨折がきっかけで入院とリハビリ病院を経てこちらにきました。姪たちが協力的で、ポート・ヒロックの事をインターネットで探してくれました。施設入居は初めてですし、仕事で色んな方とお付き合いしてきましたけど、皆さんとの共同生活に最初は正直不安が大きかったです。

入居して良かった事

入居後、最初は戸惑う事がありました。でもスタッフが丁寧に相談に乗ってくれて一つ一つ解決してくれました。スピード感をもってテキパキこなしてくれる職員もいますし、今では幸せに暮らしています。こちらに来た時は車椅子でしたが、毎週の機能訓練で庭やロビーを歩く練習をして、今では歩行器を使って歩けるようになりました。目標は杖で安全に歩く事です。

また、ロビーにはフラワーショップがあり、毎週お花を見るのがとても楽しみです。珍しいお花の入荷も多いので、写真を撮って姪に送るんです。(笑)姪たちも記念日にはお花を贈ってくれますし、嬉しい気持ちになります。広い館内を歩行器で散歩するのも気分転換になるし、カルチャールームにある沢山の本を読むことも楽しみです。

最近スタッフに手伝ってもらいながらベランダでミニ菜園を楽しんでいます。

今の生活について

コロナが落ち着けば、自宅の片付けに・・・好きな洋服や反物もそのまま保管しているので整理したいです。そのために安全に出掛ける事が出来るように杖を使って歩く練習に励みます。また、久しぶりに琴の練習もしたいです。



牧志 信子様 (87歳)

2020年に介護棟へご入居の明るい笑顔が印象的な牧志様。ご自身のペースを保ちながら、穏やかに日々を過ごされています。現役時代は仕事に邁進され、定年後は海外旅行やお琴を楽しまれる活動的な方です。



フラワーショップ「クリスティン・ミュンヘン」

ポート・ヒロック館内にあるフラワーショップ「クリスティン・ミュンヘン」。お花の入荷日にはフラワーショーケースに色とりどりの花（時には入手困難な種類も！）が並び、ご入居者を楽しませています。

お花の販売はもちろん、館内の植栽のアレンジからご入居者向けフラワーレッスンやお花の定期便など活動は多岐にわたります。ドイツの都市ミュンヘンでのフラワーショップ勤務の経験を活かし、ヨーロッパスタイルの花選びと配色が特徴です。

☎ 090-6631-1961

✉ info@christine-munchen.com



久しぶりの演奏会

館内でコントラバスとピアノの演奏会を開催しました。久々のイベントを楽しんでもらおうと特別に呈茶席を設け、演奏会の前に和菓子とお抹茶でおもてなし♪夏の茶道具と涼やかな着物姿で暑さも和らぐ爽やかな呈茶会となりました。

お呈茶のあとはコントラバスとピアノの演奏会♪チューリッヒオペラで最年少首席コントラバス奏者となったヴィオレル・アレクサンドルさんと、県立芸大講師や世界各地のオペラ公演等に携わるピアノ奏者の宇江喜ゆりさんをお迎えしました。めったにない貴重な機会ということもあり、多くのご入居者で満席になった会場で「ルーマニア舞曲」などヨーロッパの楽曲や「えんどうの花」など馴染みの沖縄の曲も披露され、皆様目を閉じてじっくりと聞き入っていました。また、メゾソプラノ歌手の兼島麗子さんがサプライズゲストとして登場♪「ていんさぐぬ花」が演奏されると、お三方の見事なハーモニーで会場が温かな雰囲気に入れられ、ご入居の皆様は音楽に触れる機会を満喫された様子でした。

コンサート後もお入居の皆様から「外国にいた頃の事を思い出したわ」「生きててよかった！」など多くの感想が寄せられました。今後も、余韻の残るような楽しい催しを企画していきたいです♪



出演いただいたオペラ歌手の兼島麗子さん(右)、
コントラバス奏者のヴィオレル・アレクサンドルさん(中央)、
ピアノ奏者の宇江喜ゆりさん(左)



茶室「海寿軒」の前で島崎社中の皆さんと♪

職員紹介



長嶺 真登加 ながみね まどか

■職種：介護福祉士 ■出身地：浦添市

■ご入居の皆様へ一言：有料老人ホームでの仕事は初めてで不慣れなことも多々ありますが、ご入居者の皆様日々安心して楽しく暮らしていけるよう、一人一人に寄り添って支援していきたいと思っております。

イベント・行事のご案内

10月～12月の予定

※介護棟の予定も含まれます

■夏の出来事

花や草木などが生い茂る自然豊かなポート・ヒロック。敷地には多くの野鳥(たまにシラサギ!)がやってきます。そんな中、スタッフの一人が鉢植えのベンジャミンの枝の間でできた可愛らしい鳥の巣を発見! 巣の中をのぞくと、白地に鮮やかな赤紫色の模様が入った卵が3個。せっせと巣を作ったのは春から夏にかけて産卵時期を迎える「イソヒヨドリ」で、街中でもよく見かける身近な野鳥です。スタッフ全員が孵化するのを待っていました。



それから数日、「ピヨピヨピヨピヨ・・・」と元気な鳴き声が♪親鳥が運ぶ餌を食べようと、我先にと大きく口を開けるヒナ鳥達。孵化してから巣立ちまで約10日、さらに2週間程で飛び立つようで…その時を心待ちにしていたのですが、スタッフが見ると既に巣は空っぽ! 元気に巣立ちの時を迎えたようです。また来年会えるのを楽しみにしています♪

■秋のピクニック

日差しが和らぎ涼しくなる季節。ゆっくりと景色を楽しみながら、軽い運動を兼ねたピクニックで親睦を深めませんか♪

■クリスマスツリー点灯式

たくさんのオーナメントで美しく飾られたクリスマスツリー。「スリー・ツー・ワン!」のカウントダウンで、心を合わせてツリーに温かな光を灯します。一緒に過しましょう。

※都合により、予定を変更する場合があります。ご了承ください。

介護棟：介護が必要な方の住まい

■沖縄県本土復帰50周年

今年が沖縄復帰50周年。ご入居の皆様にご当時の思い出を伺いました。

Aさん:「その頃、夫の転勤で東京に住んでいたのが日本武道館で行われた『沖縄復帰記念式典』に夫婦で参加しました。沖縄から遠く離れた東京で復帰の日を迎え特別な思いがありました。」

Bさん:「ちょうど退職の時期で給与はドル、退職金は円で頂いた記憶があります。」

Cさん:「50周年の今日は雨。復帰当日も雨が降っていて…。『やっと日本になったんだな』と思いました。」



■ポート・ヒロック祭り

待ちに待った今年のお祭りはご入居の皆様が法被姿でご参加♪数十年振り(!)の紙芝居(浦島太郎など)に「内容をすっかり忘れていたけど懐かしくて思い出したわ!」と子供時代を回想したご様子。

続いて「わっしょい!」の掛け声と共に、お菓子を積んだおみこしが登場するとご入居者から掛け声が♪お菓子つかみ取りでは感染症対策のビニール手袋を付けてのゲームに苦戦しながらも大量のお菓子をGET! お互いのお菓子を見比べたり、「童心に返ってたくさん笑ったさあ♪」などの声もあり、笑顔いっぱいのお祭りでした。



港の見える小さな丘



シニア グランドホーム
ポート・ヒロック
(介護付有料老人ホーム)

お問い合わせ

受付時間

9:00～18:00 (土・日・祝日も受付)



0120-87-1609

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5丁目7番7号
TEL/098-871-3636 FAX/098-871-3637

ポート・ヒロック

検索